

会議名

令和2年度 第2回 釧路市社会教育施設等運営審議会

開催日時及び場所

令和2年10月14日（水） 15時00分～16時00分
釧路市中央図書館 7階 多目的ホール

主な議題

- 1 審議事項
平成31年度釧路市図書館施設の指定管理者業務の
外部評価について

結果

- 1 釧路市図書館施設指定管理者業務の外部評価の結果、適正であると評価された。

発言要旨

審議事項について

委員：寄贈資料について、差し支えなければ詳細な状況を教えていただきたい。

事務局等：ありがたいことに図書館に本を寄贈したいという申し出をたくさんいただいている状況。基本的に「釧路市図書館資料収集方針」に則った資料収集を行っており、寄贈の申し出があった場合、資料の取扱いについては図書館に一任いただくように説明させていただいている。今回は、審議会等の中で確認がされているのかというご意見があったため、委員各位に報告させていただいた。

委員：審議会の中でも、きちんとした形で、図書館として公平に処理等をされているということ、共通認識として持つことは重要なことだと思う。

委員：利用者数の減りは、100人200人という数ではない。あわせて貸出冊数も減っているということであれば、原因等を考えていく必要があるのではないかと。

事務局等：全体的に見ると、利用者数が大きく減少しているのは地区図書館になる。コロナ禍の影響も確かに大きいですが、中央図書館は昨年とほぼ同等数で推移している状況。今後、地区図書館の利用をどのように魅力的に見せていくかという部分は課題だと感じている。また、中央図書館についても、リピーターになってもらえるようなサービス提供に努め

ていきたい。

委員：今、注目されているが、地域史料のデジタル化等ほどの程度進んでいるのか。また、完了するまでにどのくらいかかりそうなのか。

事務局等：電子書籍が注目されているが、紙の図書も大事にしていきたいという思いもある。現在は「永久保秀二郎日誌」をデジタル化して、図書館のホームページで公開している。図書館業務とは別に、アイヌ関係の資料をデジタル化し、図書館に配架するような事業も並行して進んでおり、図書館基本計画の中でも検討すべき課題としているため、今後充実されていくと考えている。

委員：所属している団体では、やはり今後は電子的に資料を保存していく必要があるという話もするため、図書館にはぜひ先駆的に取り組んでいただきたい。

委員：読書活動サポートセットや学校ブックフェスティバルの実施回数、実施校はどのように決めているのか。また、読書活動サポートセットは、国語以外の教科に対応したものも用意される可能性はあるか。

事務局等：学校ブックフェスティバルは、年度初めに学校に実施希望を伺っている。毎年10校程度を目安にし、全ての学校を回るができるよう、昨年度未実施の学校で優先的に実施している。読書活動サポートセットはセット数が限られていることもあり、学校と図書館の館外支援担当職員があらかじめ相談して、全小学校を回る計画を作っている。令和2年度のセットには国語以外の教科に関する図書も含めている。

委員：読書活動サポートセットは、学校で非常に役に立つ図書が入っている。セットに入っている図書のリストを学校に配ってもらえると、図書室に入れる本を選ぶときにも大変役立つのではないか。

事務局等：今後検討していく。